

 infor

+

 NSK

## 導入事例

# マクセルイズミ株式会社、Infor SyteLineを導入し、タイムリーな生産管理を実現

生産会議を大幅に短縮して、大幅な工数削減を達成

マクセルイズミ株式会社（以下マクセルイズミ）は、長野県松本市に本社を置き、1939年の創業以来、電設工具事業と家電事業の2つの柱を持ちます。電設工具事業においては、発電所から一般家庭のインフラに関わる圧縮・圧着工具、切断工具など電気工事用のプロ用ツールの開発から販売を行っており、国内外で広く使われています。家電事業においては、電気シェーバーを主軸に、調理家電や環境関連商品などOEM製品を広く展開しており、本社工場、中国工場も含め、開発から一貫した低コスト高品質での製造を行い、国内外へ出荷しています。

今後、さらなる成長を実現するうえでは紙と会議の文化から脱却し、オフコンとメインフレームによる基幹システムの入れ替えが急務に

マクセルイズミは、他社のERPでは困難な、グループ会社単位での受発注・在庫・会計管理が実現できることから、インフォアと日本ソフトウェア(NSK)の共同チームでの構築支援のもと、当時メインフレームとオフコンで構成されていた基幹システムを、中堅組立製造業向けのInfor SyteLineにリニューアルしました。

“ 当時は、オフコンとメインフレームによる基幹システムが動いていたのですが、部材の投入履歴と完成品の完成日しかわかりませんでした。このため、各工程の状況を把握するためには各工程の担当者を集めて1日2時間程度の会議をしなければならなかったのです。 ”

手塚 澄氏

マクセルイズミ 調達部 システム企画課

  
マクセルイズミ株式会社

### 本社

松本市、長野県

### 業種

各種電設工具、油圧機器の製造販売  
各種電気製品の製造販売

### 従業員数

283人（2021年3月31日現在）

### Infor製品

Infor SyteLine

### Webサイト

[izumi.maxell.co.jp](http://izumi.maxell.co.jp)

従来では、現状把握のために担当者が10から15人で毎日2時間必要だった生産会議が、導入後、3日に1回の15分程度の会議で済むようになり、大幅な工数削減を実現しました。

また、導入後に、10から20程度ある各工程の担当者がInfor SyteLineのデータと現状のデータをもとに自主的に加工計画を立て、先行管理が容易になりました。

検討当時、同社のさらなる成長を実現するうえで欠かせないことが、現場の見える化、および、タイムリーな生産管理の実現でした。そのためには、会議と指示書による現状把握からの脱却が必要不可欠でした。それらの実現のためには、オフコンとメインフレームによる基幹システムの入替えが急務でした。

## Infor SyteLine導入の決め手

検討当初、Infor Sytelineを含めて6システムほど検討の俎上にあがっていたが、最終的には、詳細な設定が可能でコスト感も適切であった同システムを採用することに決まりました。採用の決め手はグループ会社単位でのマスター管理でした。生産計画・購買管理・販売管理・在庫管理までの基本機能を十分に備えていると判断され、Infor SyteLineの導入に決定に至りました。将来を見据えた多言語対応や、複数の事業で使えるような詳細な設定ができるなどその他の機能についても他の5つのシステムとも遜色がなかったと評価されました。

“今までは、机上では、生産開始と完成品の納期しか把握できず、各工程の納期は指示書をかき集めて把握するしかなかったです。Infor SyteLine導入後は、各工程の担当者が納期を入力してくれるようになったため、緻密な納期・発注・在庫管理ができるようになりました。これは当社にとって大きな改善であると思っています。

篠之井 昌昭氏  
同社 調達部 システム企画課 課長

## ビジネス上の成果

- Infor SyteLineの生産スケジュール管理、在庫管理機能によって、机上で各工程の状況確認が簡単に可能となった
- Infor SyteLineで各工程の納期を計算・入力することで中間工程の納期を関係者がタイムリーに把握し、前後工程の状況に応じた臨機応変な対応を各工程で簡単にとれるようになった
- 各工程の生産量、在庫量が会議をしなくてもわかるようになったため、今後どうするかといった未来の内容を会議の中で議論することが可能になった

本システムの構築は、インフォアが請け負って、そして、Infor SyteLineに関する豊富な導入実績と技術力、総合力を評価して日本ソフトウェアの人材も構築メンバーに登用されました。要件定義から実装までを約1年という短期間で実現したが、インフォアと日本ソフトウェアのサポートが功を奏して、大量の帳票実装、および、補助システムの構築なども含めて短期間で実装が終了しました。

## 今後の拡張予定

マクセルイズミは、SyteLineバージョンアップを実施し、更なる拡張基盤を構築しています。さらにEDIの導入も検討しています。Infor SyteLineのオプションモジュールには、サプライヤーベンダーがインターネットにて直接所要データを閲覧しフォーキャストを捉えたり、注文情報の取り出し・納期回答の実現、単価・L/T等の契約管理が行えたりする機能を取り揃えており、更なる拡張を予定しています。

[詳しくはこちら](#) 

**infor**

インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、170か国以上で65,000以上のお客様を支援しています。